

～夏の特別ラボ研修～

毎年この時期は、2泊3日で蒜山研修を行っていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止し、代替行事として2日間の「夏の特別ラボ研修」を実施しました。フィールド活動に必要な観察法を習得し、これからの課題研究のテーマに広がりをもたせるために、物理・化学・生物・地学の分野において研修を行い、各分野の理解を深めました。

1. 期 日 令和3年7月30日（金）

場 所 岡山県立倉敷天城高等学校

物理分野は「熱気球の研究」という内容で行い、実際に気球を作製し浮かせる実験をしました。化学分野は「清涼飲料水中のビタミンC定量とその方法」という内容で行い、実際に清涼飲料水をつくりました。地学分野は、本校卒業生である JOGMEC の長原正人先生から金属資源についてご講演（リモートでの講演）を頂きました。



物理



化学



金属資源講演会

2. 期 日 令和3年7月31日（土）

場 所 岡山県倉敷市大畠周辺

講 師 洲脇 清 先生

2日目は、瀬戸内海（児島地区）の生物調査を行いました。後半は、固着生物による水質の判定をしました。指標生物に点数をつけて、合計点で水質と生物環境の評価を行います。どの班の調査結果も高得点となり、水質は「きれいな海」、生物環境は「豊か」と評価しました。身近な海を直接、観察することによって、どのような環境になっているのか知りました。そして、この環境をいつまでも守り続けることが大切であることを実感しました。お互いの調査結果を発表しあい、海岸研修を終了しました。

